

ぺちやくぢゃないとNAGANO Vol.12の 開催について

2010年4月12日
長野クリエイターズネットワーク
担当：トヨシマ ヒトシ
E-Mail : info@pecha-kucha-nagano.org

長野クリエイターズネットワーク*では、この度、
「ぺちやくぢゃないとNAGANO Vol.12」というイベントを開催致します。

このイベントは、長野県のクリエイター達とその世界を盛り上げよう！という趣旨で行なう、
簡単に言うと「プレゼンテーション大会(発表大会)」です。
昨年11月に松本市で開催されたVol.11に続いて、今回は12回目の開催となります。
東京より特別にゲストもお招きしてのトークショーも予定しています。ご都合がよろしければ、
ぜひご来場ください。ご質問等ありましたら、上記の担当者までご連絡ください。

◆概要

日時 2010年5月15日(土) 17:30開場、18:00スタート、21:00終了(予定)
会場 D&DEPARTMENT PROJECT NAGANO by COTO (長野市南石堂町1317)
料金 1000円(1ドリンクのチケット付き)
主催：長野クリエイターズネットワーク
協力：クライン・ダイサム・アーキテクツ、D&DEPARTMENT PROJECT NAGANO by COTO

◆イベントの形式

十数名の様々な分野のデザイナーをはじめ創作活動に取り組む人達が、プロジェクターで大きく映し出した
写真を使って、次々にプレゼンテーション(発表)を繰り返します。
来場者の方々には、ドリンクを片手にリラックスしてそれを見ながら、ぺちやくぢゃおしゃべりして
思い思いに楽しんでいただき、仲間や友達の輪を広げていただきます。

◆プレゼンテーション(発表)の形式

プレゼンテーションは、必ず20枚の静止画像で行なわないといけません。
しかもその画像は、1枚あたり20秒で自動的に次へ切り替わってしまいます。
そのため、一人当たりのプレゼンテーションの時間は、20x20=400秒に限定されます。
よって間延びする事も無く、テンポの良い進行になります。

◆特別ゲスト

菱川勢一氏(ドローイングアンドマニュアル株式会社代表取締役社長 / 映像家)
発表者としてのプレゼンテーションの他に、スペシャルトークショーでご自身の手掛けたプロジェクト
などの興味深いお話を聴かせていただく予定です。(詳細なプロフィールは別紙をご覧ください)

◆「ぺちやくぢゃないと」とは？

- ・東京の建築事務所「クライン・ダイサム・アーキテクツ**」が2003年に東京で始めたイベントです。
- ・若手クリエイター達に発表の機会を与えるのが目的です。営利目的ではありません。
- ・現在も毎月一回、六本木で開催されています。毎回300人以上の方々が入場します。
- ・その主旨に賛同した人達により、現在では世界約300ヶ所で「ぺちやくぢゃないと」は開催されています。
- ・2007年11月1日には代々木でスペシャル版が開催され、2000名を集めました。
- ・ちなみに日本国内で東京以外での開催は長野県が初めてで、他には名古屋市等計7カ所で開催されています。

◆関連Webサイト(発表者などが確認できます)

ぺちやくぢゃないとNAGANO <http://pecha-kucha-nagano.org/>
ぺちやくぢゃないとグローバルWebサイト <http://www.pecha-kucha.org/>

◆取材記事

松本経済新聞 <http://matsumoto.keizai.biz/headline/309/>
信濃毎日新聞 <http://www.shinshu-liveon.jp/www/topics/1560>
同上 http://www.shinshu-liveon.jp/www/topics/node_134950
2009年6月3日のテレビ信州「ゆうがたGet!」でも取り上げられました。

*長野クリエイターズネットワーク

長野のクリエイターとそれを取り巻く社会・環境・業界等を盛り上げる
事を目的として、mixi上で結成された自由なネットワークです。現在メンバー数は105名。

**クライン・ダイサム・アーキテクツ <http://klein-dytham.com/>

アストリッド・クラインとマーク・ダイサムが主宰する建築事務所。リゾナーレ小淵沢のガーデンチャペル
「ZONA」と「もくもく湯」、銀座のユニクロのファサード等の作品が有名。



特別ゲスト 菱川勢一氏のプロフィール

菱川 勢一 ドローイングアンドマニユアル株式会社代表取締役 / 映像家

1969年東京都生まれ。CBS ソニーグループ（現ソニー・ミュージックエンタテインメント株式会社）入社。総務部総務課を経て、プロデューサー室に配属、ソニー株式会社広告宣伝部に出向。銀座ソニービルにて数多くのイベント、展覧会のプロデュースアシスタントを担当。1991年渡米。渡米と同時に音楽業界から映像業界へ転身。ポストプロダクションの編集マンと映像プロダクションの制作ディレクターを兼務。年間100本を超えるミュージックビデオ、CMなどの編集エンジニアとして活躍。1993年帰国。フリーランスとして映像作家活動を開始。現在美術家のナム・ジュンパイク、黒澤明作品などを手がける衣装デザイナーのワダ・エミなどのアーティストの展覧会の映像スタッフとして空間映像の演出の数々を手がける。1995年、浜井弘治氏らと3人展「成型」を開催。1996年、吉岡徳仁氏の依頼でISSEY MIYAKE 青山本店のディスプレイに映像をデザインし、メディアに取り上げられ注目を集める。一方、インターネット草創期の中でソニーやNECなどの企業と共同で技術実験サイトを公開し、オリジナル作品をウェブサイトで配信開始。1997年、ナガオカケンメイ氏とともに、グラフィックデザインと映像の複合的活動拠点としてドローイングアンドマニユアルを設立。同年、モーショングラフィックスムーブメントの先駆けとなるモーショングラフィックス展を六本木アクシスギャラリーにて開催、映像構成ディレクターとして成功を収める。以降、「モーショングラフィックス展」は1998年、1999年、2000年に開催され、述べ3万人を超える集客を記録する。この後もモーショングラフィックス表現を駆使した映像やウェブサイトの数々を発表し、影響を与えた。モーションロゴのデザインは50企業を超える。2003年、メディアの複合的デザインスタジオとしてスタンダードシリーズ設立。映像デザインやウェブデザイン、グラフィックデザインのほかブランドデザイン、インタラクティブデザインなどで活躍中。2008年、武蔵野美術大学基礎デザイン学科准教授に就任。2009年初頭、再びナガオカケンメイ氏とドローイングアンドマニユアル社を結成。現在、ドローイングアンドマニユアル株式会社代表取締役社長。ディーアンドデパートメント株式会社取締役。

受賞歴

- 2000年 ニューヨーク ADC 賞
- 2001年 ロンドン国際広告賞
- 2002年 IBA-International Broadcast Award
- 2005年 iF デザイン賞 アトモスフィア賞など3部門
- 2008年 アジア太平洋広告祭 銅賞
- 2009年 ONESHOW INTERACTIVE Merit 賞



以上